

設計図書等の質問に対する回答

工 事 名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事（2工区）	課 名	建設部 建設第二課
受 付 日	令和6年10月7日	回 答 日	令和6年10月15日
<p>・質問①</p> <p>施工単価表 単第0-0001号 製作直接労務費 工場製作工数単価（直接労務費）（橋梁）本体に2,760.324工数と記載がありますが、斜橋補正が適用されていないように思われます。上部工一般図（図面番号9/190）より4径間のうち3径間に斜角を有しており、加重平均しますと、<math>\beta</math>：斜橋又は曲線橋による補正は0.02になると考えます。ご確認をお願いします。</p>			
<p>・質問①に対する回答</p> <p>令和6年10月15日付け入札関係資料の修正 参考図書①（修正2）のとおりです。（補正の修正）</p>			
<p>・質問②</p> <p>本工事費 内訳表頁0-0006 に記載の平鋼 SS400,100*4.5(0.002t)について、物価資料に当該規格は掲載がございません。採用された単価についてご教示願います。</p>			
<p>・質問②に対する回答</p> <p>平鋼は、広島県土木工事設計資材単価表（R6.10）平鋼 SS400,厚4.5mm×幅50mm×標準長5.5,6.0m 単位質量1.77kg/mに割増率やスクラップを考慮して算出しています。（登録単価一覧表のとおり）</p>			
<p>・質問③</p> <p>施工単価表 単第0-0016号 鋼材費（鋼板）一般構造用（SS400）ボックス形式および施工単価表 単第0-0136号鋼材費（鋼板）一般構造用（SS400）ガーダー形式 について、中板，無規格3.2×4.5mm×定尺 のベース価格はどのように設定されておられますか。ご教示願います。</p>			
<p>・質問③に対する回答</p> <p>鋼材費（鋼板）の鋼板 中板，無規格3.2・4.5mm×定尺は、登録単価一覧表のとおりです。</p>			

設計図書等の質問に対する回答

工 事 名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)	課 名	建設部 建設第二課
受 付 日	令和6年10月7日	回 答 日	令和6年10月15日
・質問④			
本工事費 内訳表頁0-0031 に記載のステンレス鋼(熱間圧延鋼板) t=3mm(0.07t)について、鋼材の割増率(ロス率)は鋼板(17%)または形鋼(12%)のいずれをお考えでしょうか。ご教示願います。			
・質問④に対する回答			
鋼材費(鋼板)のステンレス鋼(熱間圧延鋼板) t=3mm の割増率は、鋼板 17% を見込んでいます。			
(登録単価一覧表のとおり)			
・質問⑤			
施工単価表 単第0-0081号 製作直接労務費 工場製作工数単価(直接労務費) (橋梁)本体に14,949,236工数と記載がありますが、曲線橋による補正率15%を適用されていると思われます。当該橋梁は、全径間に $100 \leq R < 250$ の最小曲線半径を有しており、25%(箱桁形式)になると考えます。ご確認をお願いします。			
・質問⑤に対する回答			
令和6年10月11日の回答のとおりで、参考図書①(修正2)にも反映しています。			
・質問⑥			
施工単価表 単第0-0081号 製作直接労務費 工場製作工数単価(直接労務費) (橋梁)付属物に191,298工数と記載がありますが、重連補正率に総質量補正率(-3%)を含むとの記載があることから、重連による補正を適用されていると思われます。広島県 土木工事標準積算基準書(令和6年8月)IV-557 表3.18 付属物の工数の補正より、総重量補正は伸縮継手には適用されないとの記載があるため、算出し直すと、197,214工数になると考えます。ご確認をお願いします。			
・質問⑥に対する回答			
令和6年10月11日の回答のとおりで、参考図書①(修正2)にも反映しています。			
以下余白			